

全道6月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和2年4月16日
警察本部交通企画課

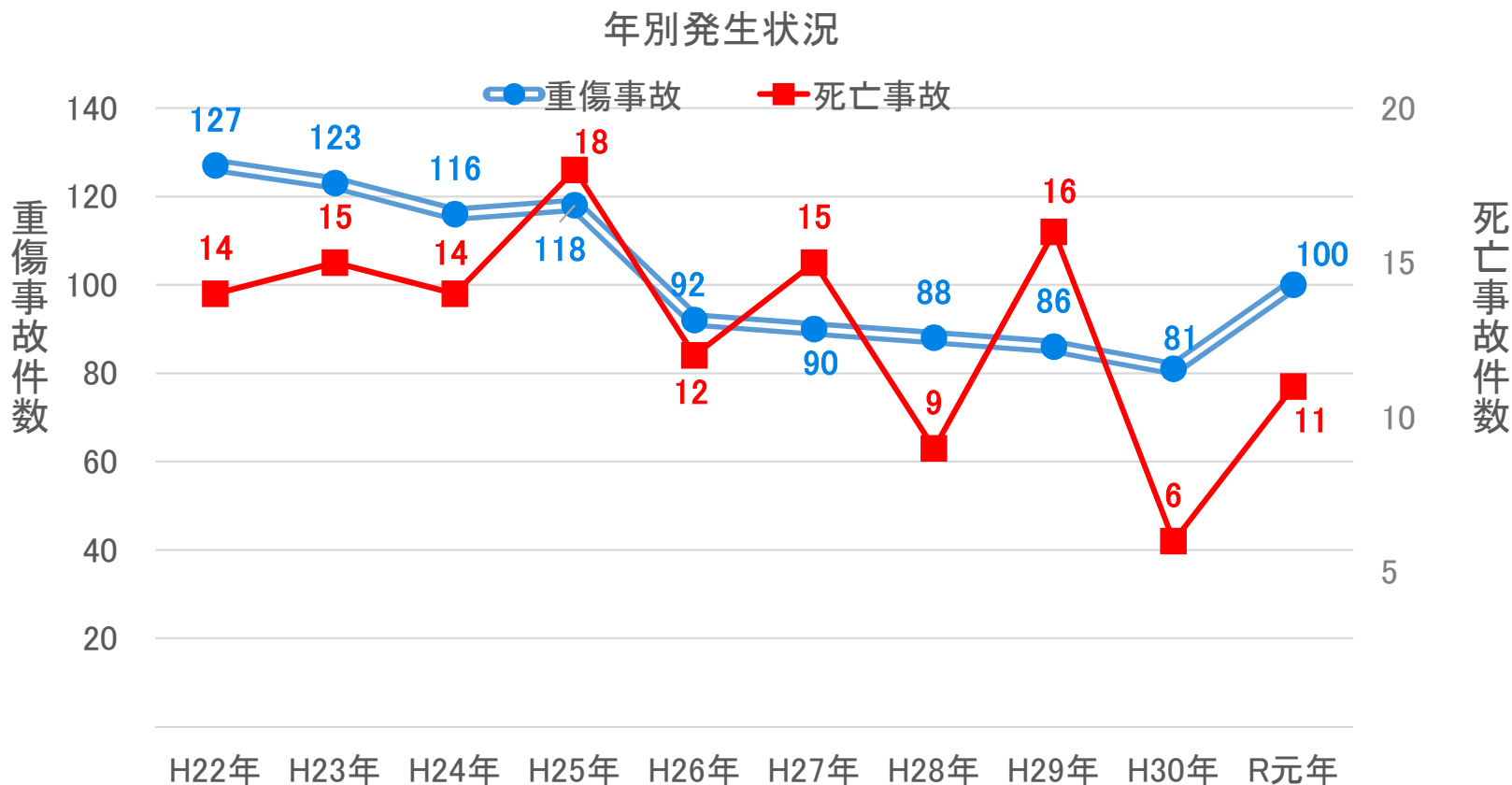
【概況】

- 事故類型は、自転車対車両が最も多く、次いで人対車両が多い。
- 死亡事故については、車両単独が最も多く、次いで人対車両が多い。
- 人対車両は、時間帯別では20時から22時が最も多く、次いで、朝夕の通勤時間帯となる8時から10時及び16時から18時が多い。地形別では市街地の交差点が多い。
- 人対車両の第1当事者(車両)の違反別では安全不確認が最も多く、また、道路横断中死者(歩行者)側の約6割に法令違反あり。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では10時から16時、地形別では非市街地の直線及びカーブが多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、5割以上がシートベルト非着用で、非着用のうち7割以上がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 二輪死傷者事故は、時間帯別では10時から12時及び18時から20時が多く、非市街地における事故の5割に二輪車側の速度超過が認められる。
- 自転車対車両は、時間帯別では8時から10時及び16時から18時、地形別では市街地の交差点が多い。

(注)本資料は、令和元年12月末日までに入手した6月中発生 of 事故データにより作成したものである。

1-1 年別死亡・重傷事故発生状況

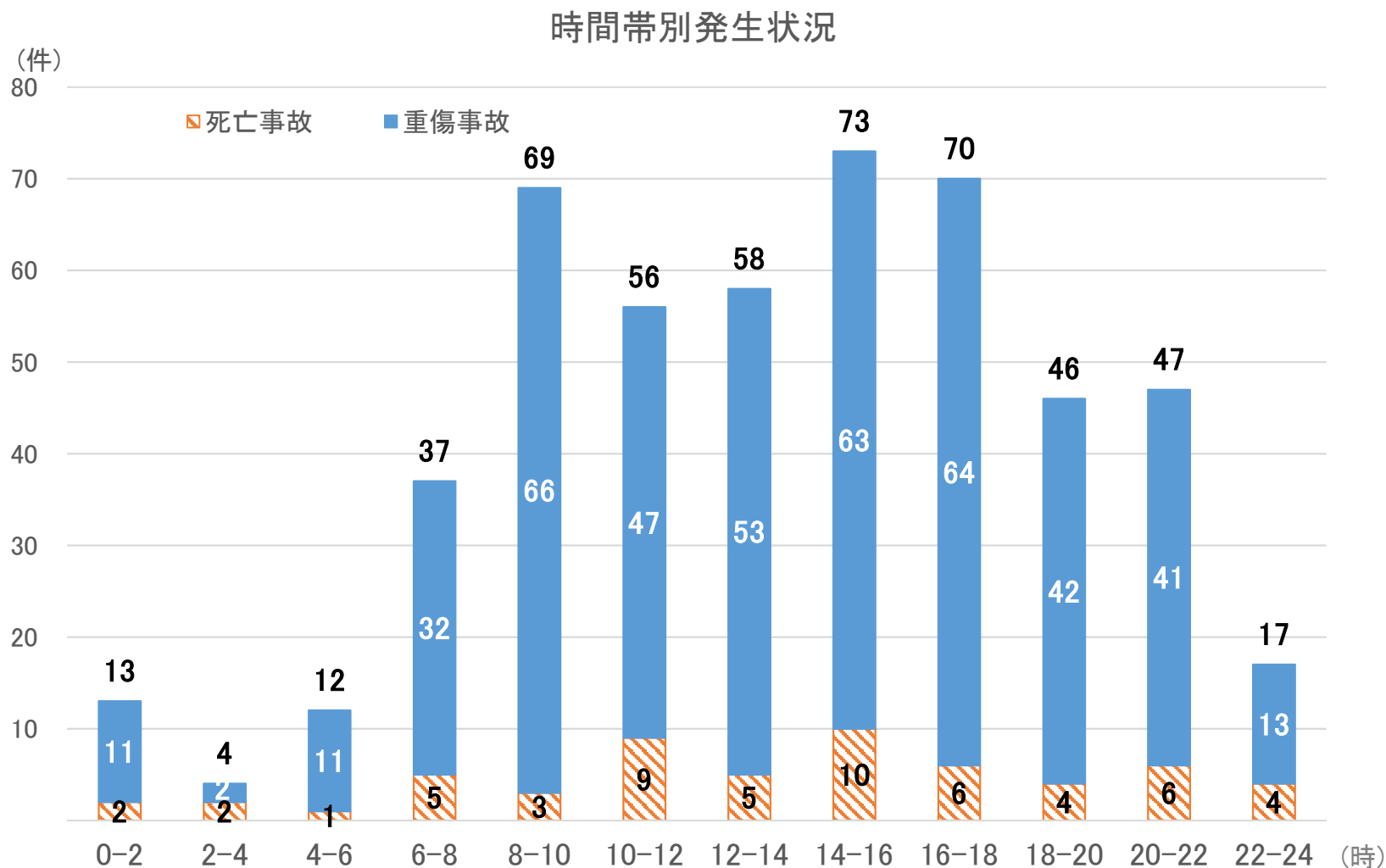
年別の死亡事故件数については増減を繰り返している。
重傷*事故件数にあつては、平成26年から減少傾向であつたが、令和元年は増加した。



※ 「重傷」とは、交通事故によって負傷し、1か月(30日)以上の治療を要する場合をいう。

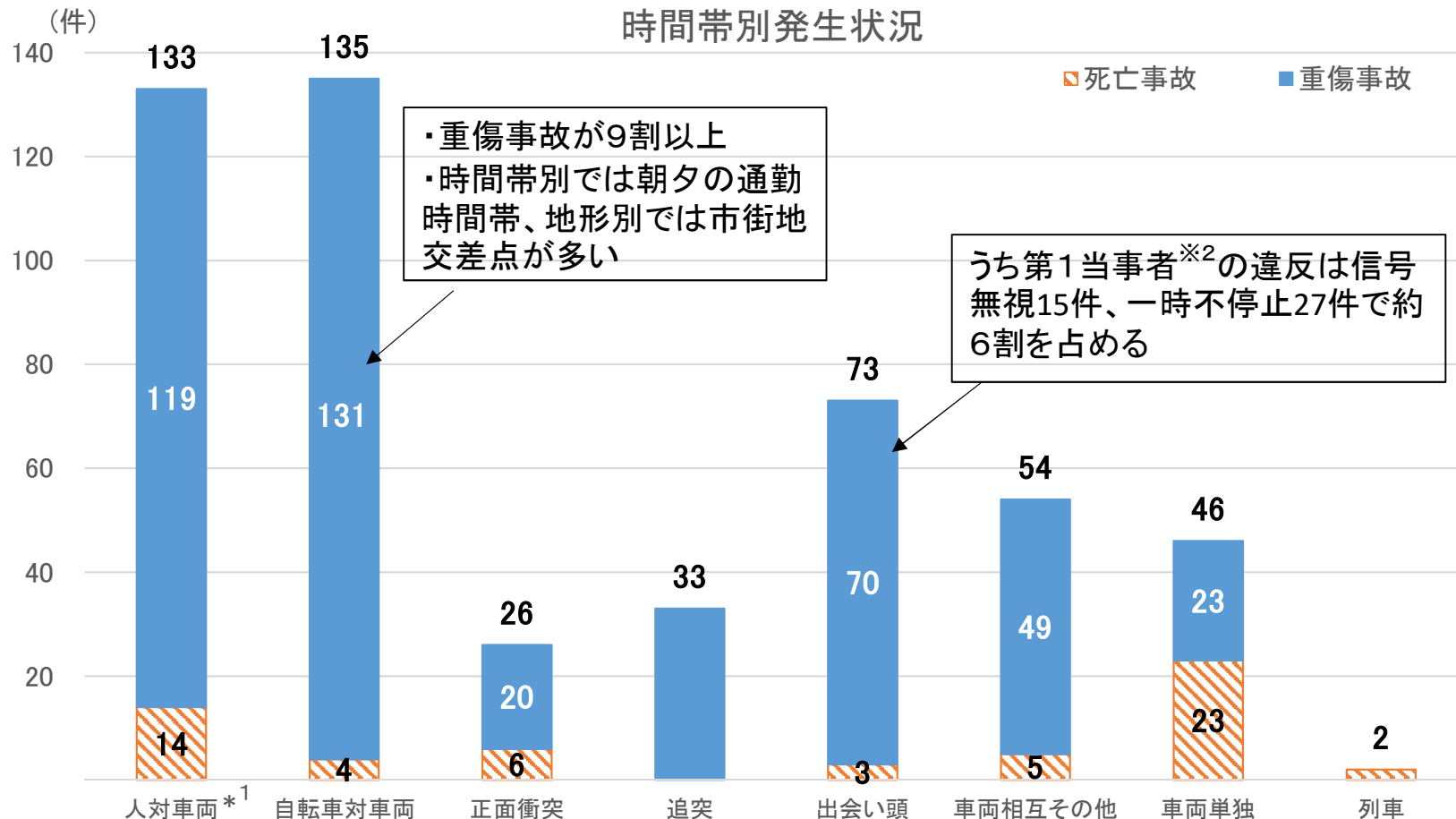
1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

14時～16時が最も多く、次いで16時～18時、8時～10時が多い。



1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

自転車対車両が最も多く、次いで人対車両が多い。

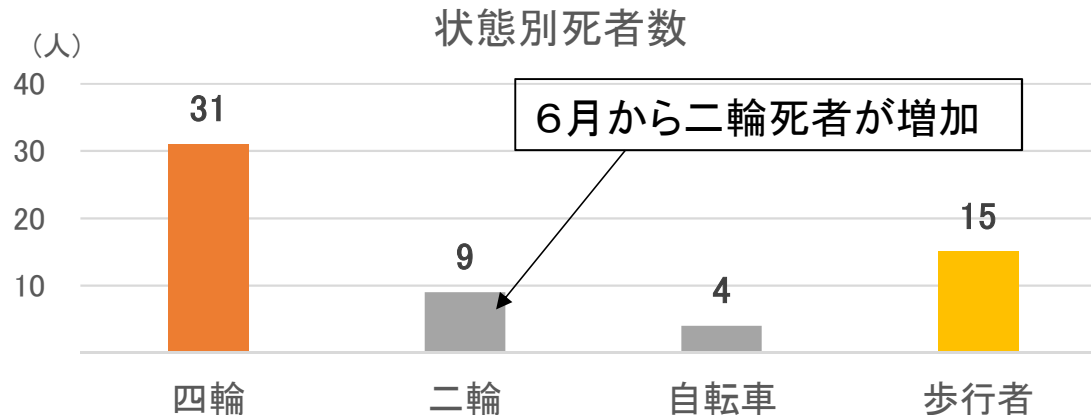


※1 「人対車両」は、「人対自転車」を含む。

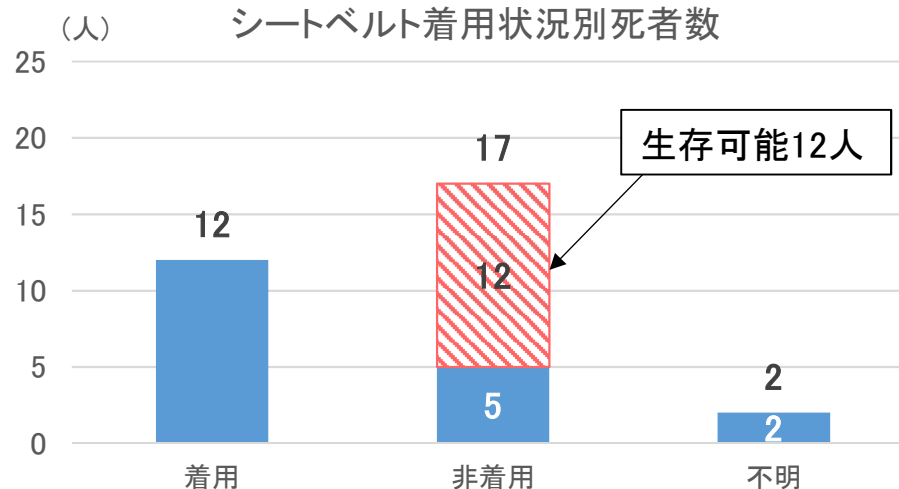
※2 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い方をいい、また、過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い方をいう。以下本資料中において「1当」という。

1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。

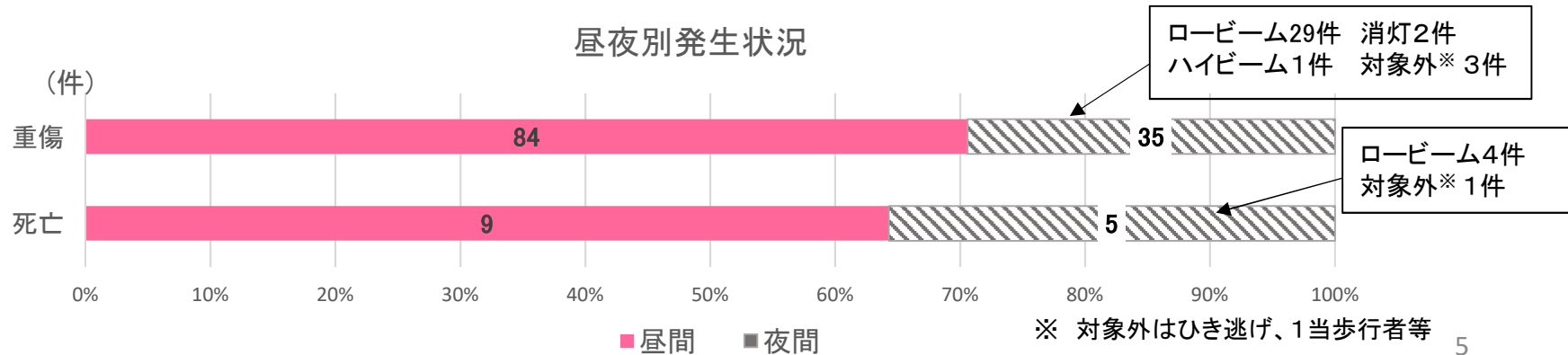
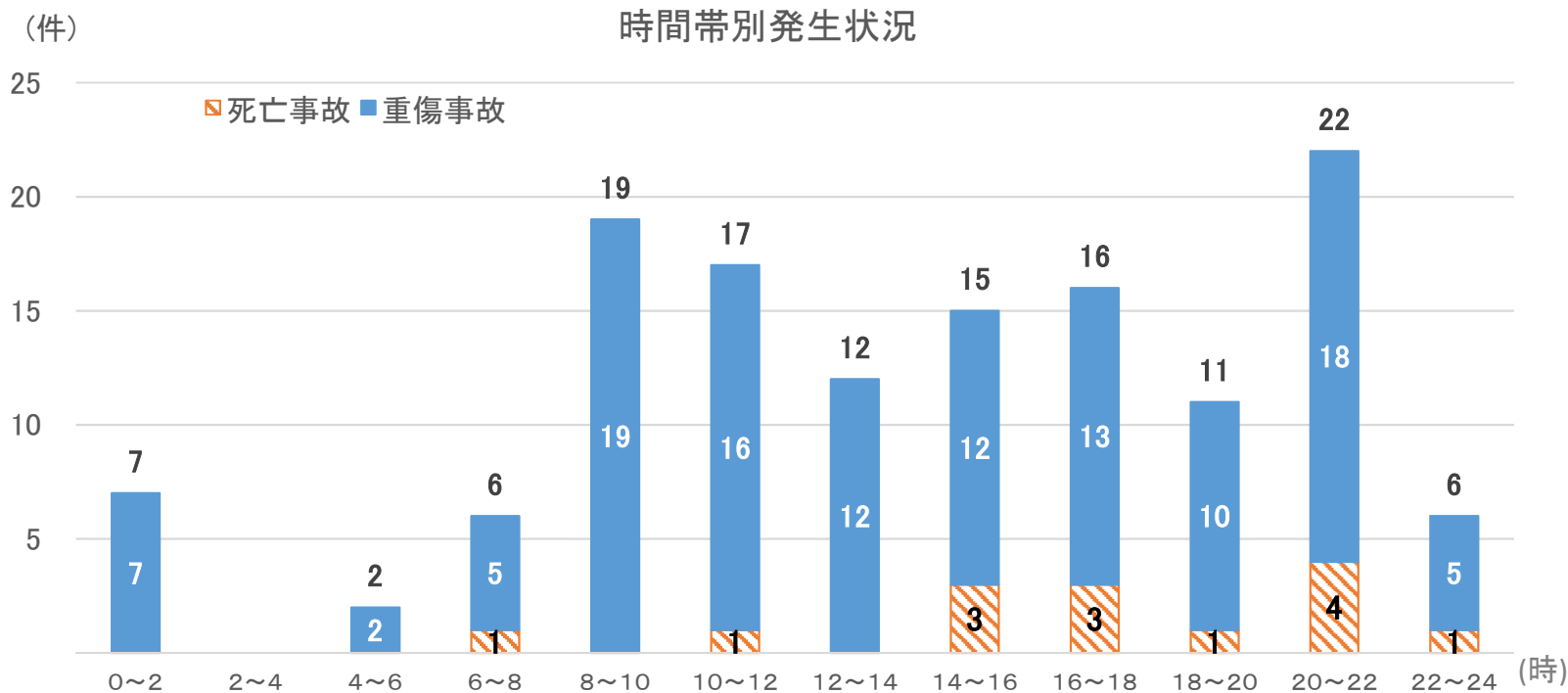


シートベルト着用対象者(四輪及び特殊車)の死者31人中、シートベルト非着用者は17人(54.8%)であり、このうち12人(70.6%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



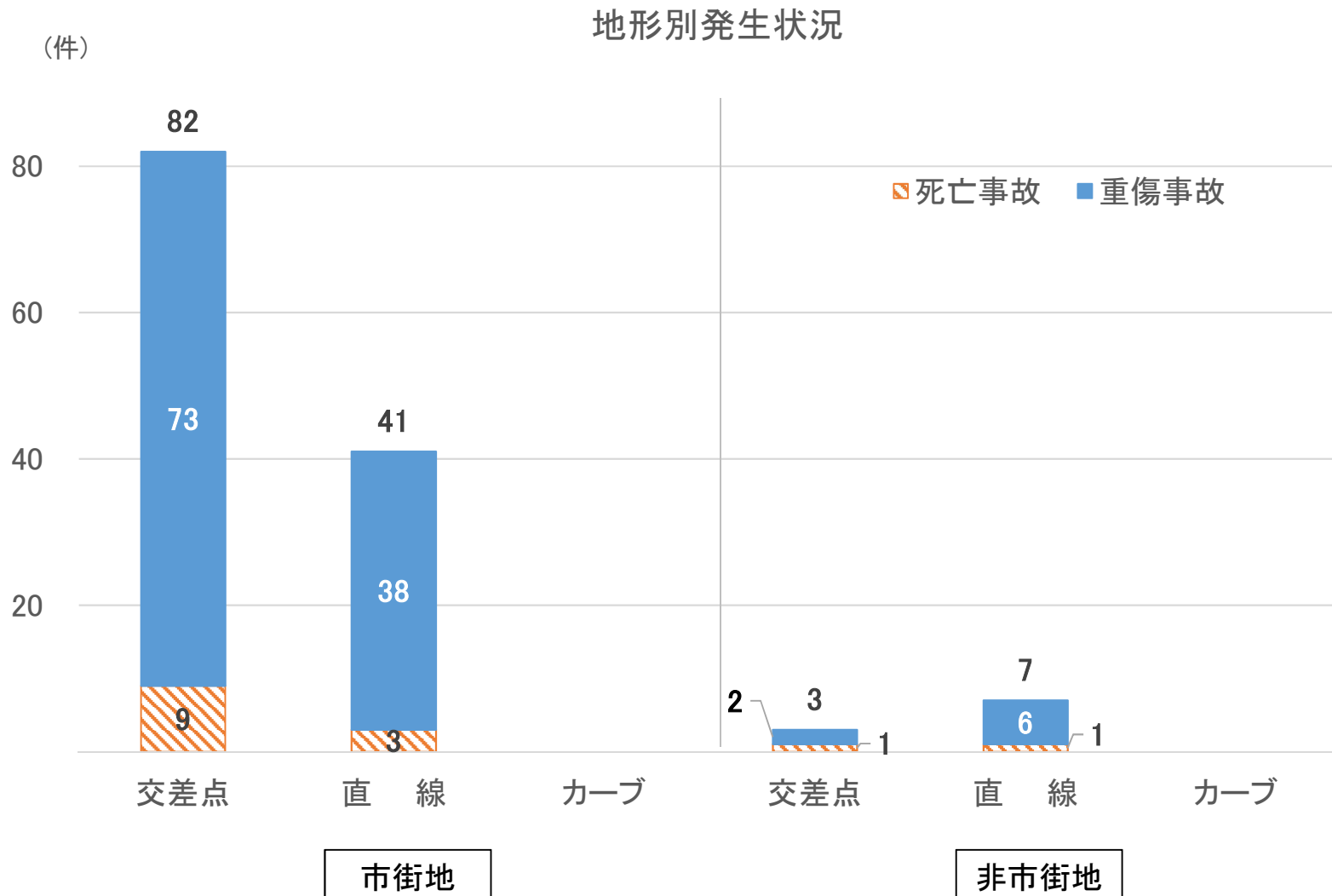
2-1 人对車両における時間帯別発生状況

20～22時が最も多く、次いで8時～10時、16時から18時が多い。



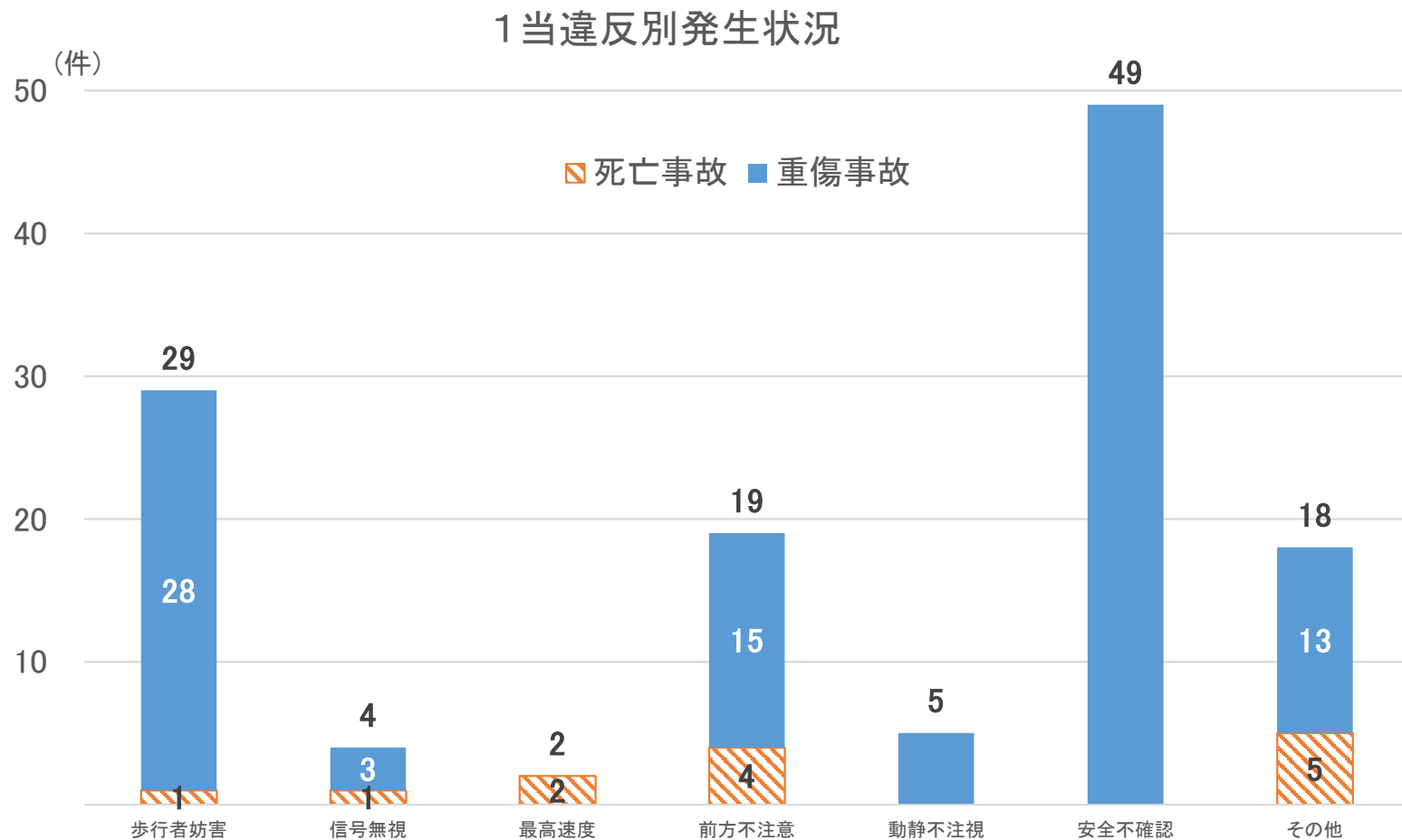
2-2 人对車両における地形別発生状況

市街地の交差点及び直線で9割以上を占めている。



2-3 人対車両における1当の違反別発生状況

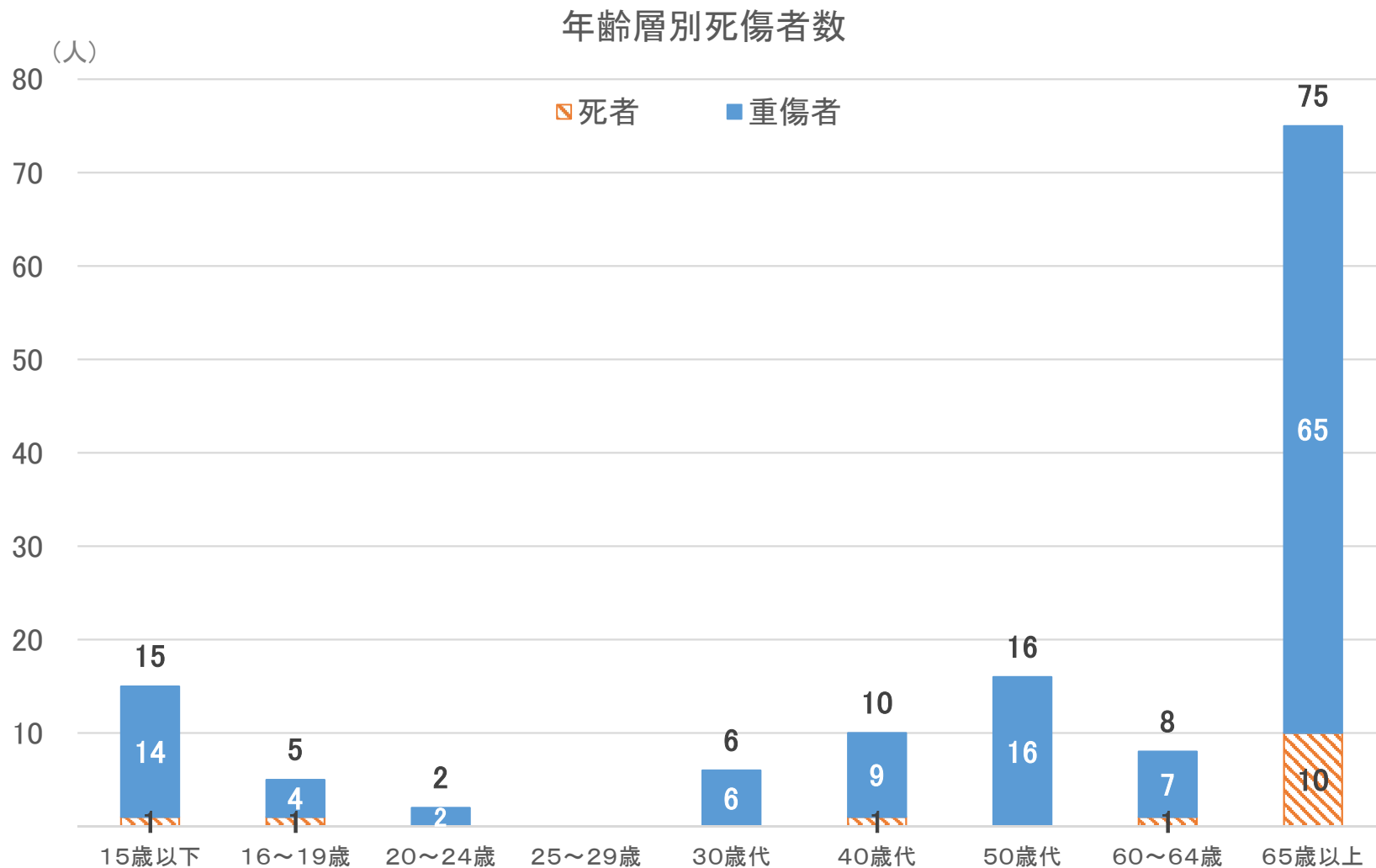
安全不確認が最も多く、次いで歩行者妨害が多い。



※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く

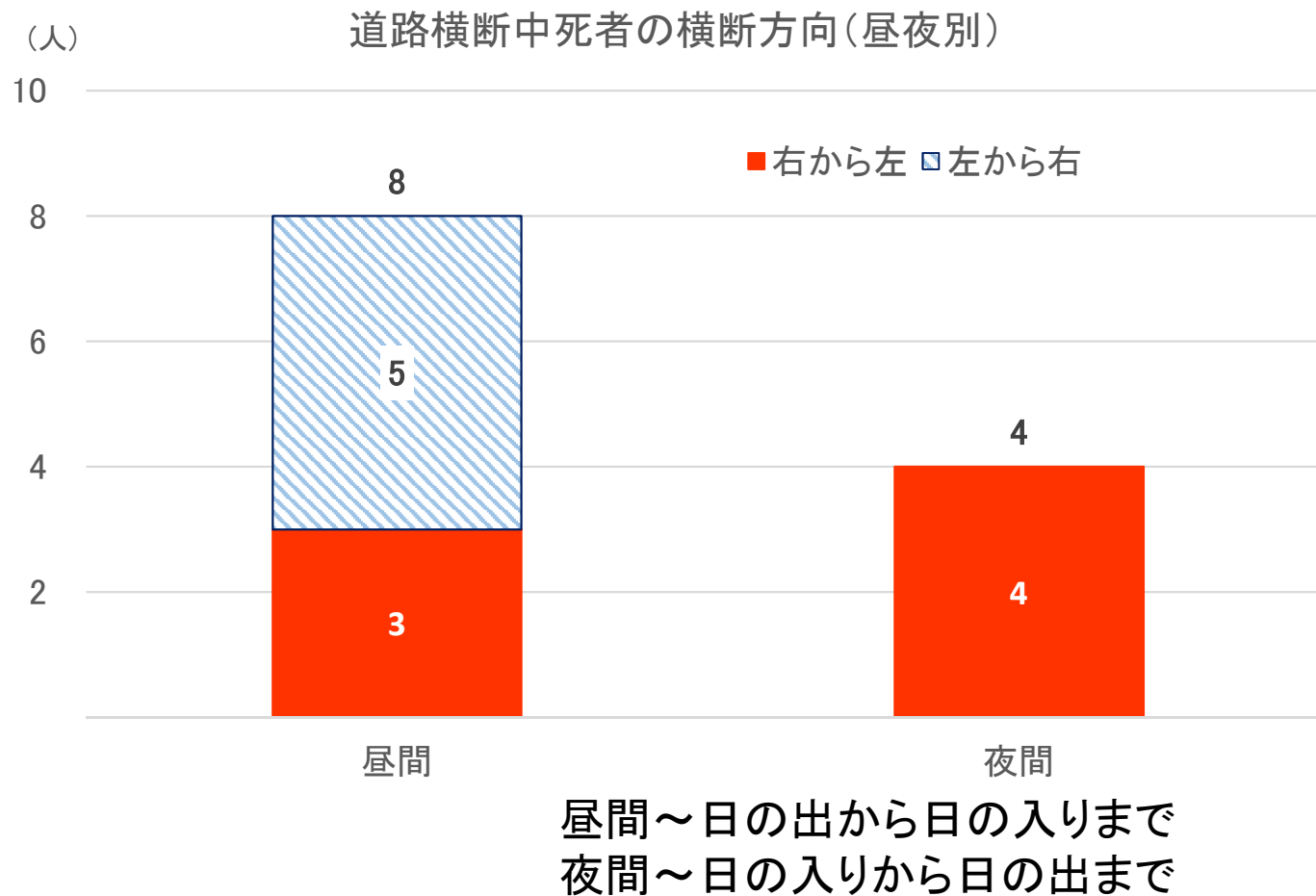
2-4 人对車両における年齢層別死傷者数

65歳以上が最も多く、次いで50歳代が多い。



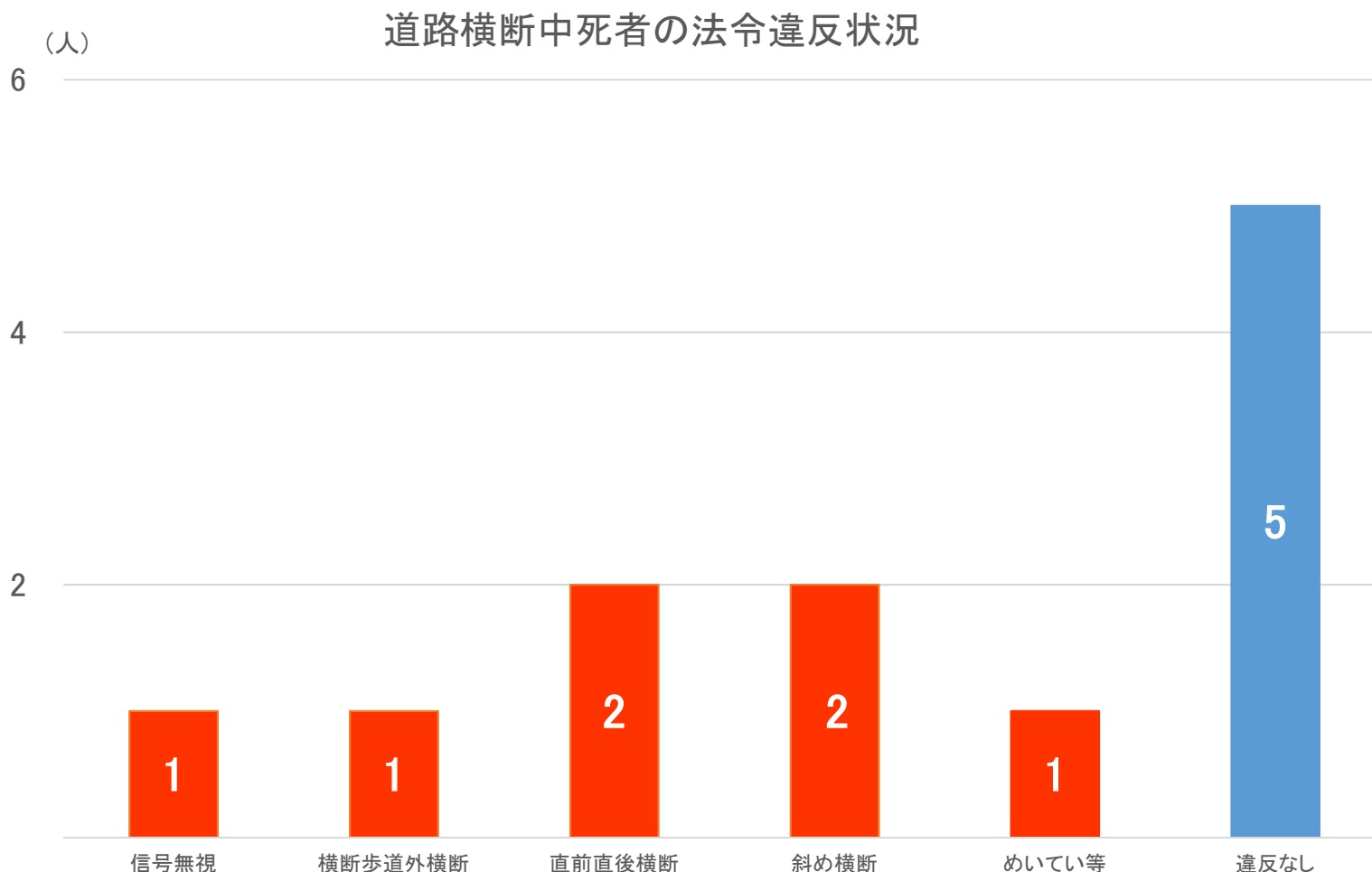
2-5 人对車両における歩行者の横断方向別死者数

人对車両における道路横断中の死者12人のうち、昼間が8人、夜間は4人となっている。また、夜間の死者は全て右から横断中である。



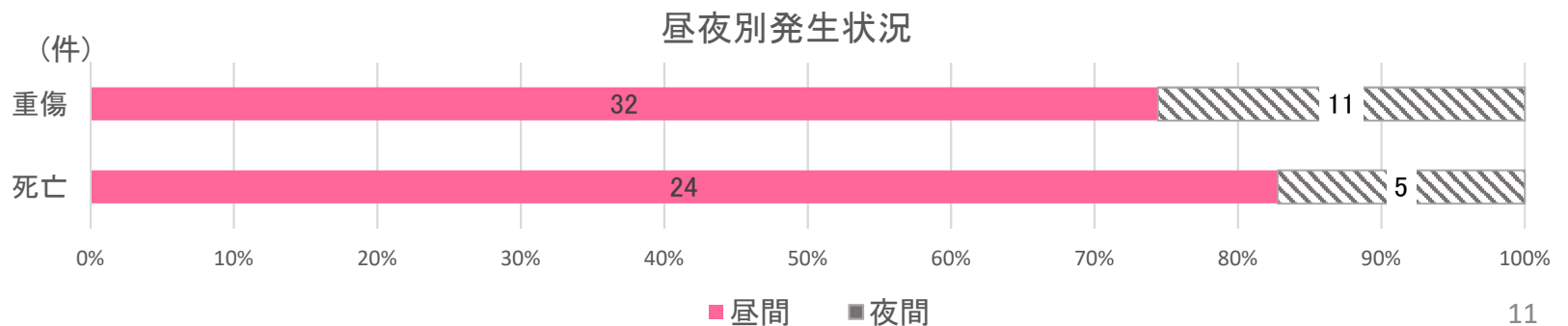
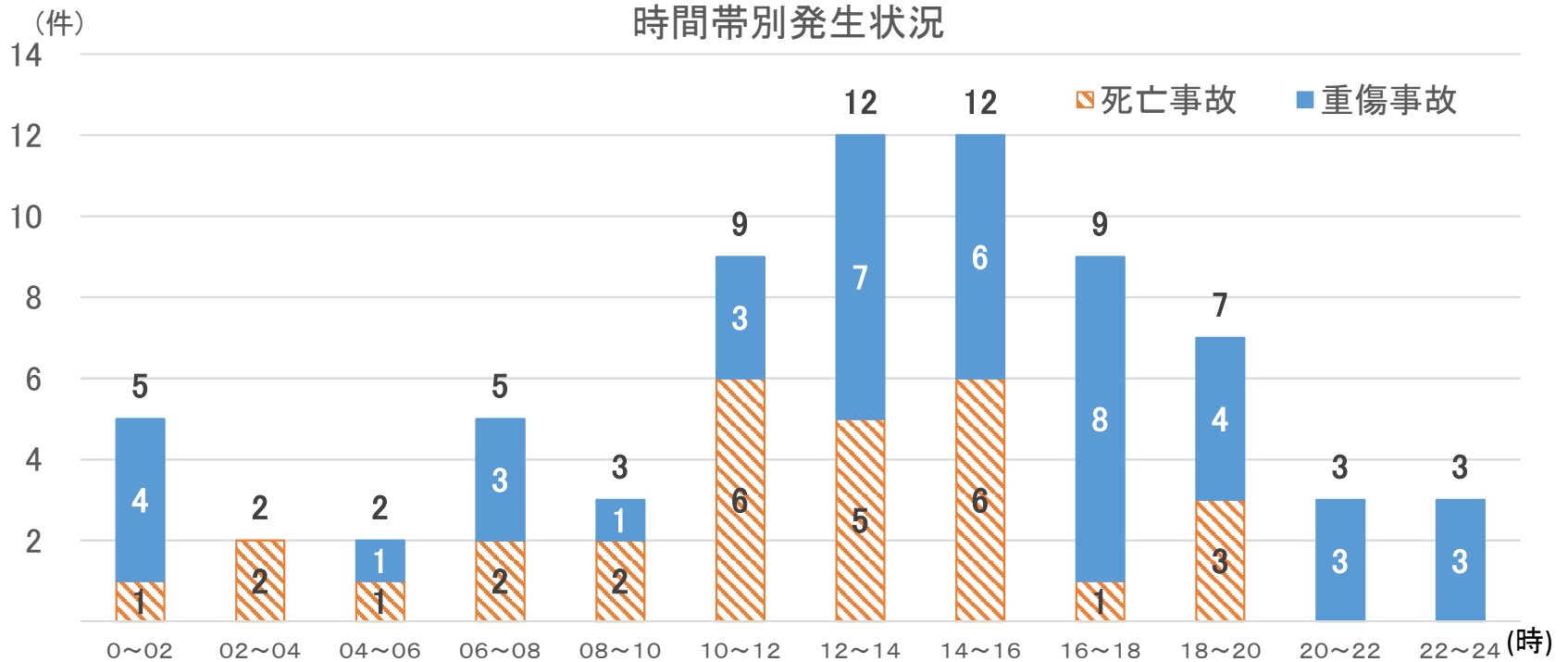
2-6 人对車両における道路横断中死者の法令違反状況

人对車両における道路横断中の死者12人のうち、斜め横断などの「違反あり」が7人(58.9%)となっている。



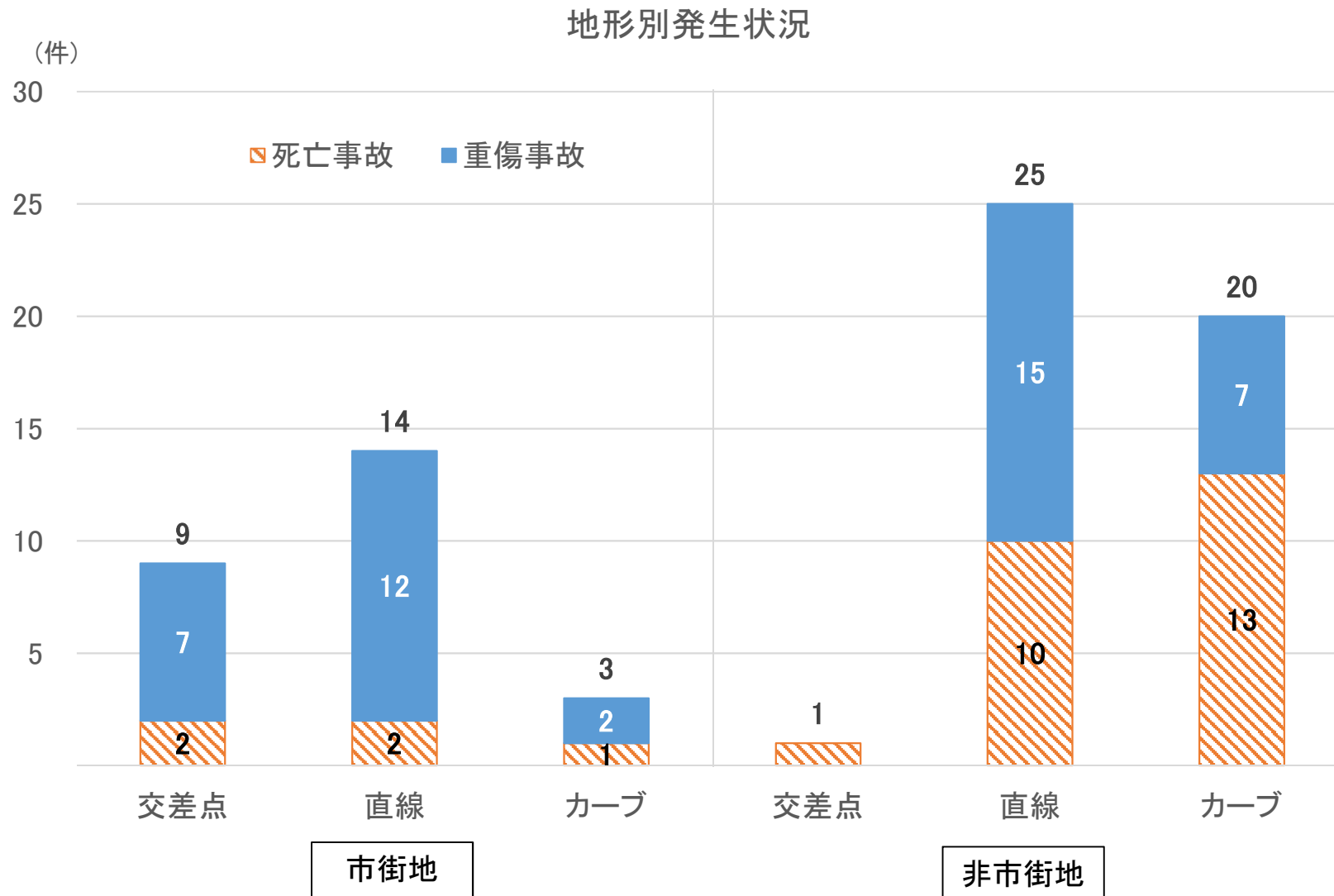
3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

12時～14時、14時～16時の発生が最も多い。
死亡事故にあっては、10時～16時の間に約6割が発生している。



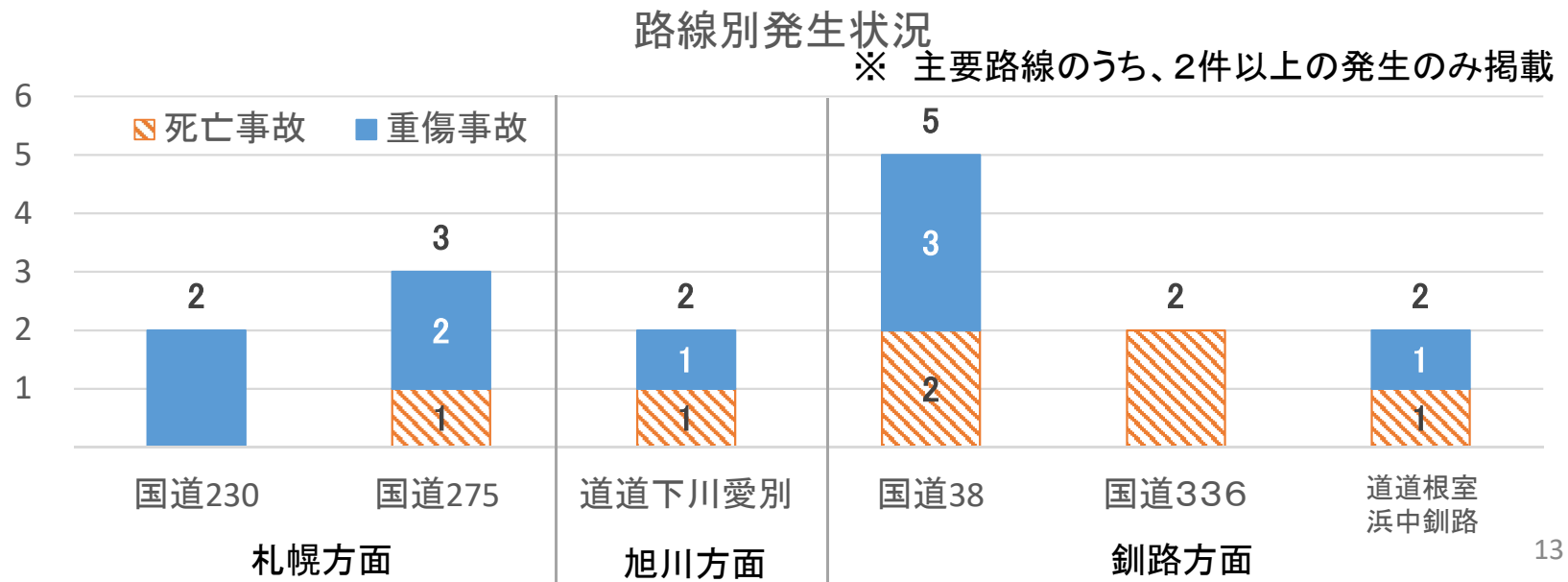
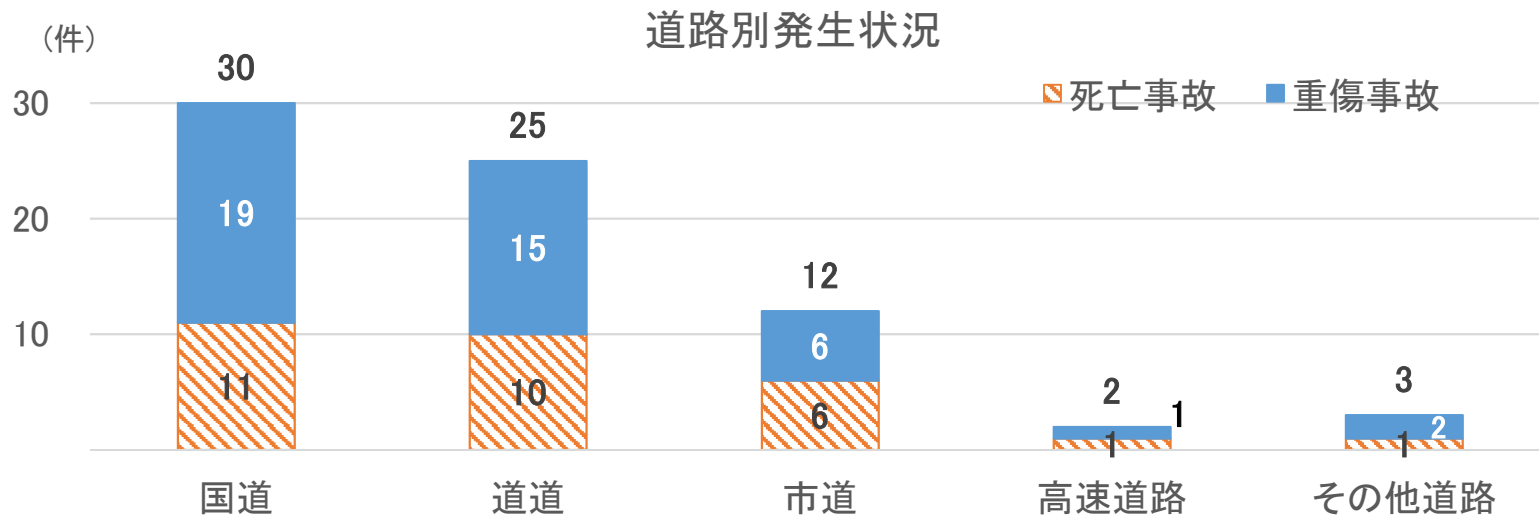
3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

非市街地直線及びカーブで6割以上を占めている。



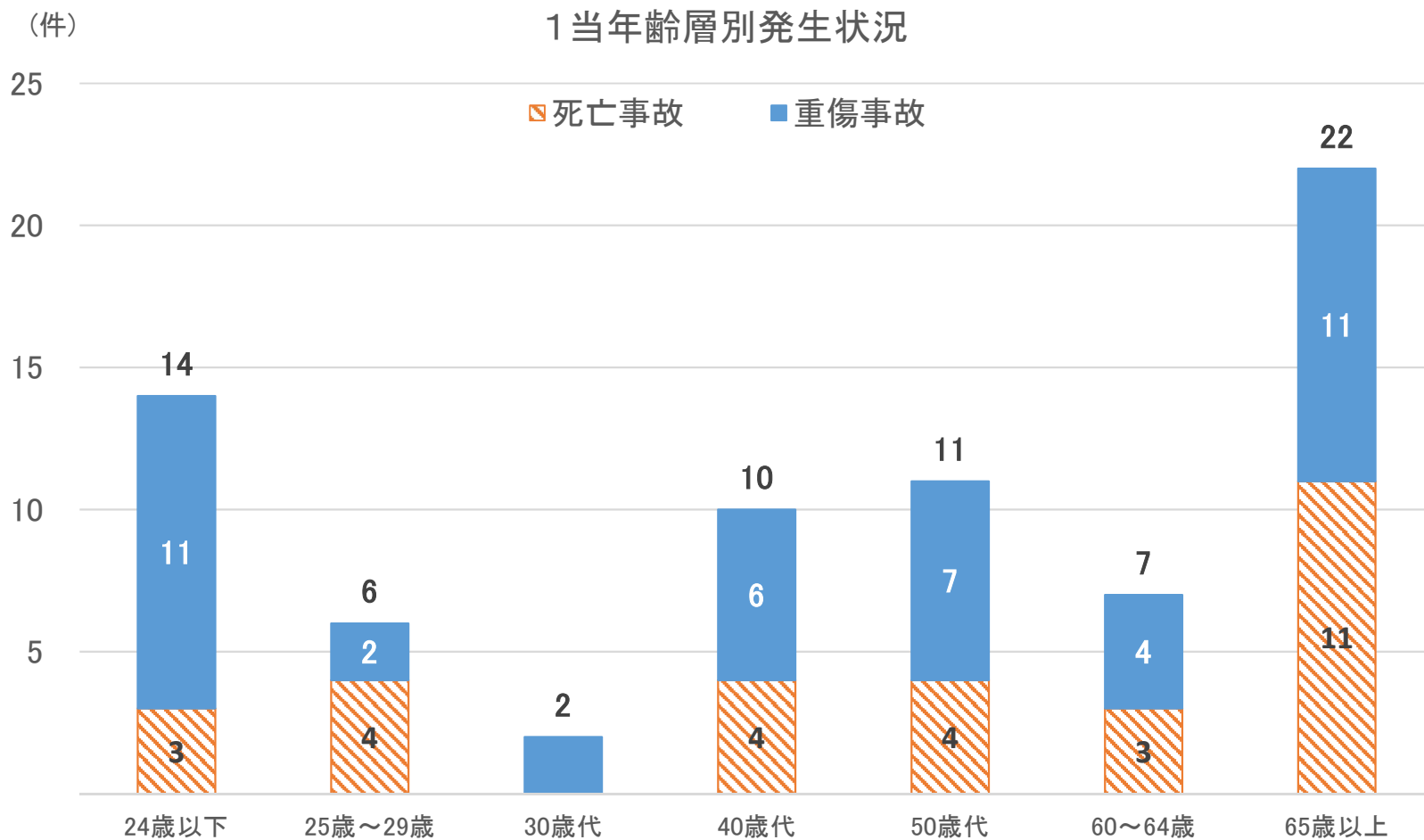
3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道及び道道での発生が約8割を占めている。



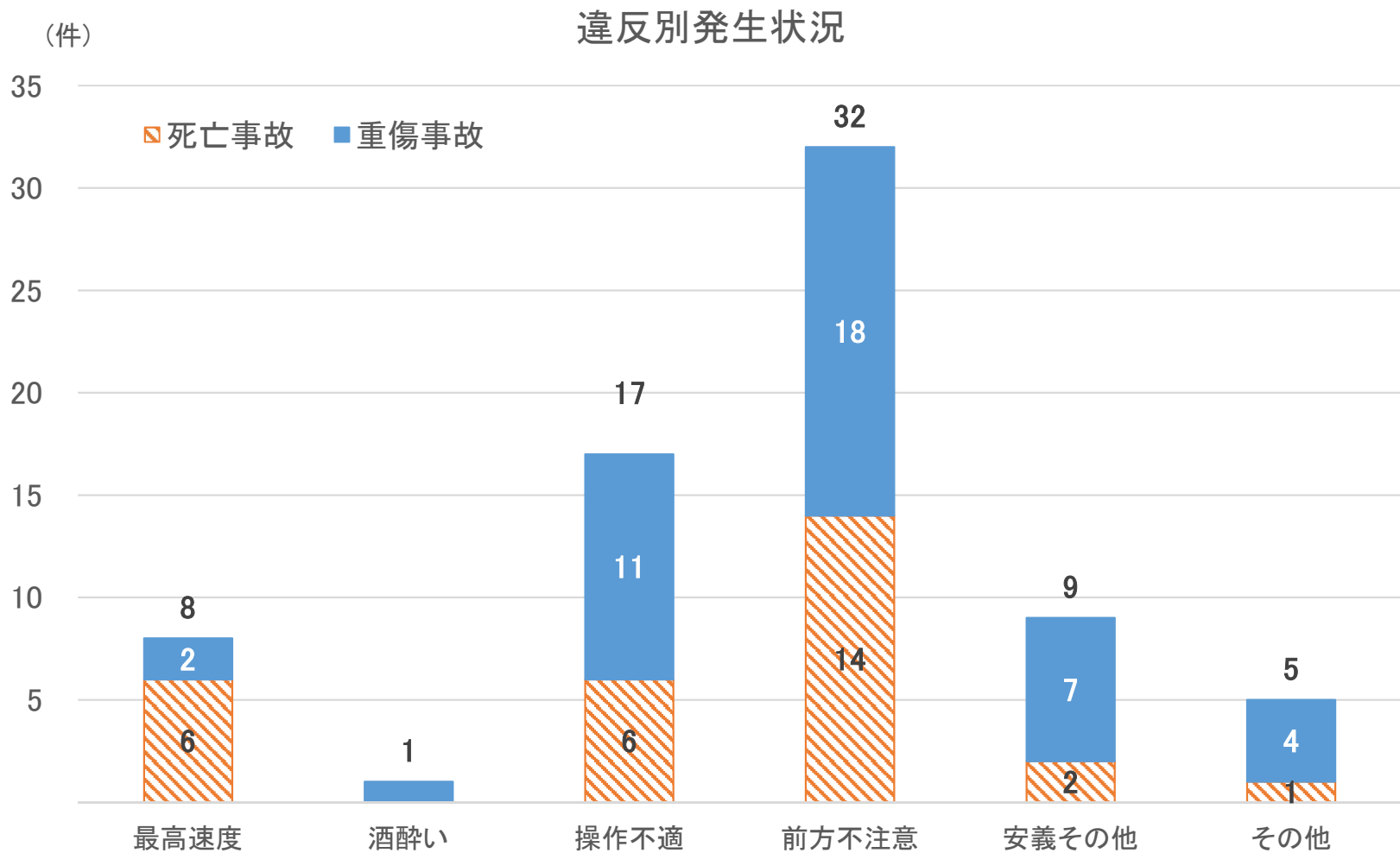
3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

65歳以上が最も多い。



3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

前方不注意が最も多く、次いで操作不適が多い。

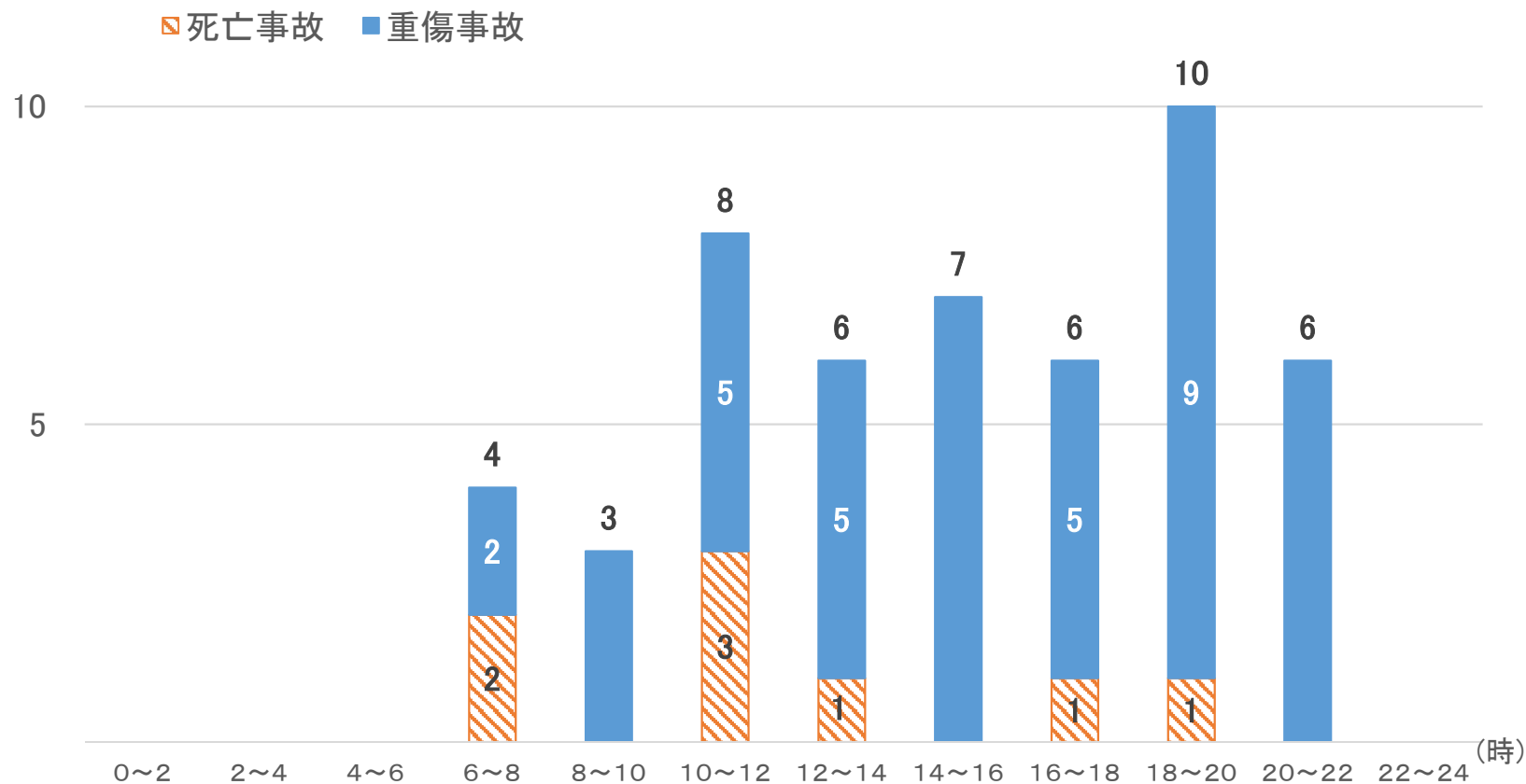


4-1 二輪車[※]乗車中死傷者(死亡・重傷)を伴う交通事故の時間帯別発生状況

18～20時が最も多く、次いで10～12時が多い。

(件)

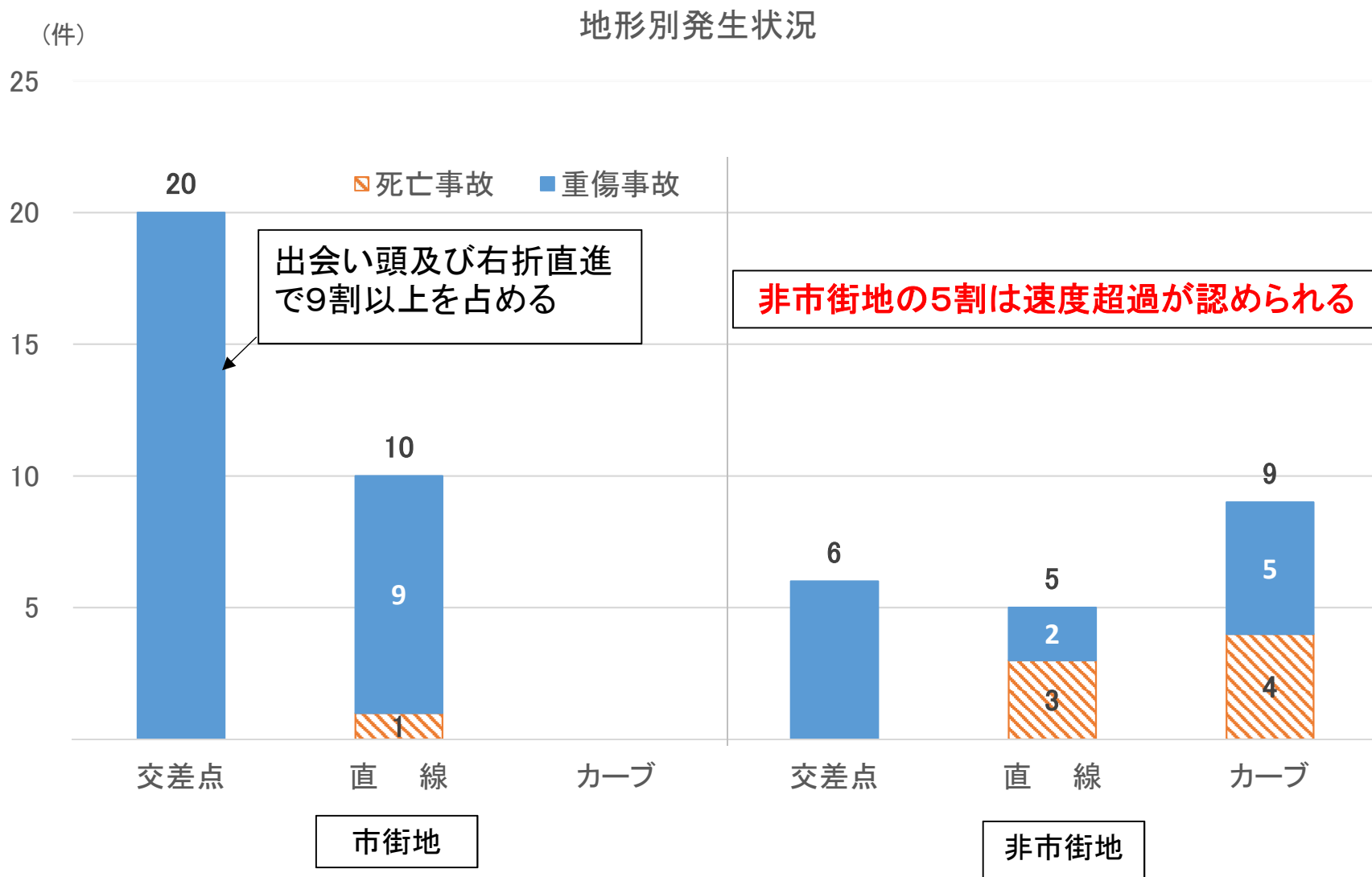
時間帯別発生状況



※ 本資料の「二輪車」とは、自動二輪車(原付を除く。)乗車中における死傷者をいう。

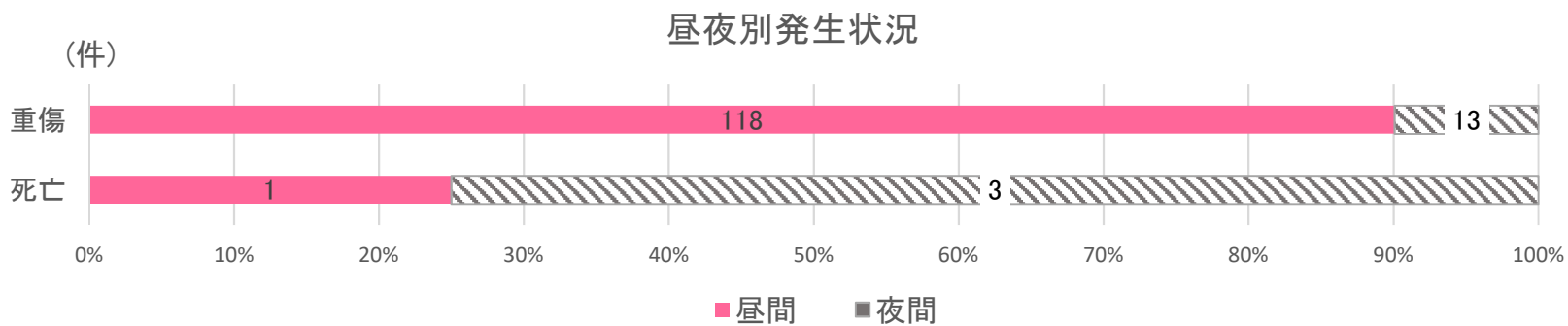
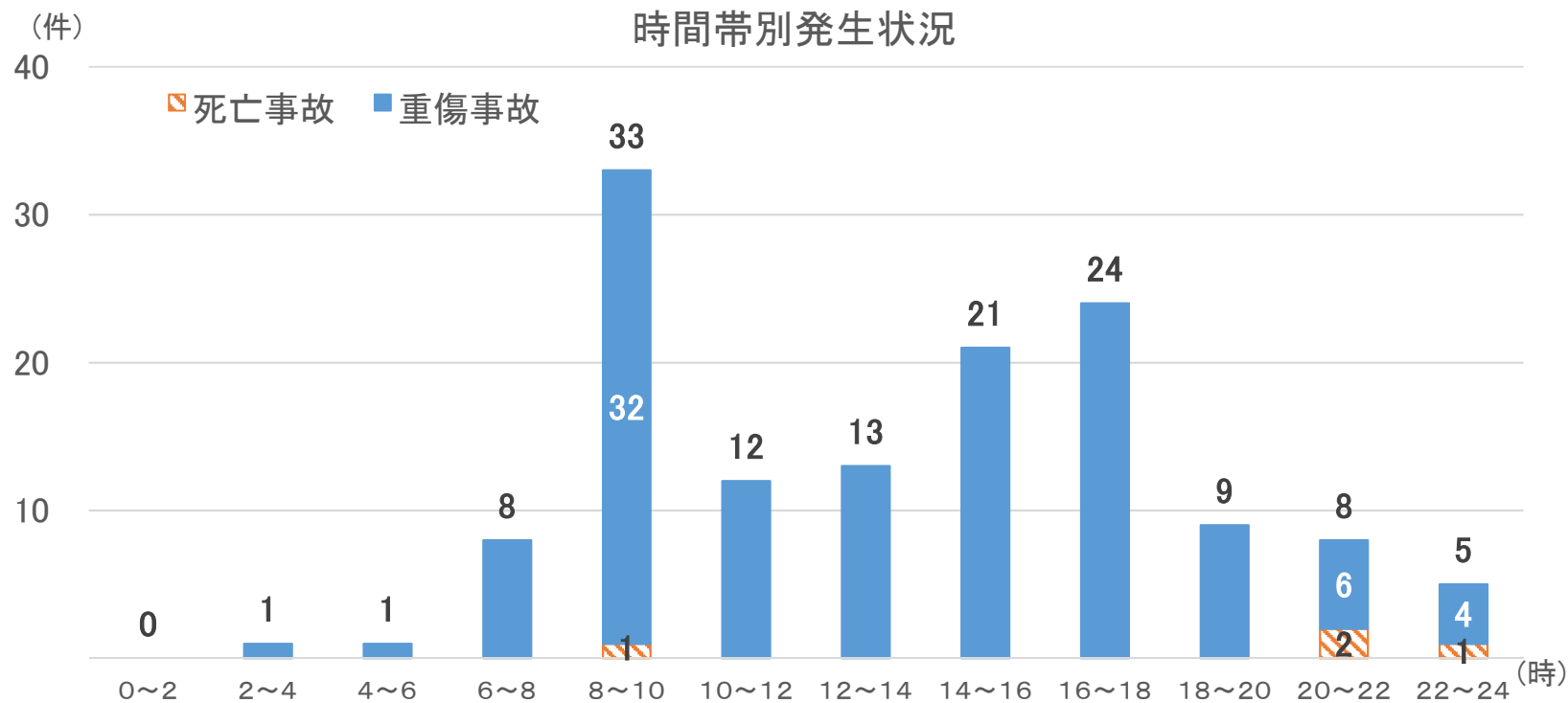
4-2 二輪車乗車中死傷者における地形別発生状況

死亡事故は非市街地直線及びカーブで多く、重傷事故は市街地交差点が多い。



5-1 自転車対車両における時間帯別発生状況

8～10時が最も多く、次いで16～18時が多い。



5-2 自転車対車両における地形別発生状況

市街地交差点で7割以上を占めている。

